

飯田市美術博物館 2028 ビジョン・基本プランについて

飯田市美術博物館

1 計画の位置付け

「いいだ未来デザイン 2028」「飯田市教育振興基本計画」を上位計画とする分野別計画

2 趣旨

本計画は、当館のめざす姿と、その実現に向けた学芸活動の基本方針および重点目標を示す「2028 ビジョン」と、それを達成するための取組を示す「2028 基本プラン」で構成しています。

「2028 基本プラン」は、時代の変化などに対応するため、計画の期間を前・中・後期の3期に分け取組を定めることとしており、前期最終年度において、前期を総括し中期の目標、取組を設定します。

3 見直し計画期間

全体計画期間（平成29年度～令和10年度）の内、中期4年間（令和3～6年度）

4 前期4年間の成果と課題

前期は「展示の魅力アップと活動体制の強化」を目標に掲げ、春草記念室常設化（平成29年）により春草生誕地において常に春草作品を観覧できる環境や、開館から30年間の調査研究の蓄積を活用し「伊那谷の自然と文化」の魅力を実物資料、映像、音響を使い、体感し学べる展示室にリニューアル（令和元年）しました。リニューアルに併せてトピック展示コーナーを設置し、タイムリーな展示により魅力向上と情報発信力の強化を図りました。

子どもたちへのアプローチとしては、美博まつりや子ども美術学校、夏休み考古塾やプラネタリウムでの乳幼児番組の投影などを行ったほか、学びの機会としては、地域での出前講座や、展示と連動した講座や自然講座、観望会などの宇宙教育も開催してきました。

遠山郷に関連した事業としては霜月祭の保存継承活動への支援や南アルプスエコパーク・ジオパークの普及啓発や調査活動などを継続して取り組みました。

こうした取組を展開してきましたが、美術博物館所管の各施設の来館者は目標値に及ばない状況です。特に上郷考古博物館、遠山郷施設については有効な活用との指摘を受けており地域等と連携して考えていく必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症は終息が見通せない状況でありガイドラインに沿った事業展開、施設管理が必要です。

5 見直しの方針

・「多くの方に親しまれる美術博物館」、「学びの多様化への対応」、「地域を担う人材の育成」、「ICT等の活用」を柱に事業を展開し、各部門においては、これまでの活動を継続すると共に課題に対応した取組を行います。

6 これまでの経過

令和2年～5月：職員による前期4年間の振り返り評価

6月：美術博物館協議会へ振り返り評価報告、意見聴取

7～8月：各部門評議員会、市議会社会文教委員会協議会勉強会に、前期振り返りの報告

～10月：中期計画（素案）検討

11月：政策協議

7 見直しの概要

(1) 2028 ビジョン

・上郷考古博物館の今後の活用方針及び新型コロナウイルス感染症蔓延などの状況変化を追記

(2) 2028 基本プラン

① 中期達成目標と重点取組

目標	・来館者に親しまれ、学びの多様化に対応する教育普及活動と情報提供環境の構築を図ります
重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者が気軽に訪れ、学びたいものや美しいものに触れることのできる市民目線での事業展開と施設管理 ・社会教育機関が連携した子どもや地域への学びの場の提供と自主活動への支援 ・展示解説や教育普及活動の充実と資料データベースの整備と、Wi-Fi環境やICT等を活用した展示解説や教育普及の情報化 ・学芸活動を深化、発展させる体制の整備 ・他の社会教育機関と連携した収蔵場所確保に向けた検討 ・プラネタリウム投影機器の更新について検討

② 部門別主な取組

部門	取組内容
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・参加型や体験型の教育普及プログラムの開発やアウトリーチによる普及活動 ・子どもたちや地域の学びへの支援、学校の授業を補完するプログラムの実施 ・web等を活用した、来館できない利用者に対するサービスの提供
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスエコ・ジオパークの基礎研究と普及啓発 ・気候変動の影響を明らかにする調査研究、市民等の調査研究活動支援
人文	<ul style="list-style-type: none"> ・遠山霜月祭や地域の民俗芸能の調査記録と保存継承への支援、情報発信 ・柳田國男館、日夏耿之介記念館、遠山郷土館、天伯などを活用した事業の開催 ・歴史研究所等と連携した講座の開催や企画展示の実施
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・春草没後110年特別展等による春草の顕彰と作品・関係資料の増強 ・市民や研究団体との協働による伊那谷の美術の再発見 ・子ども美術学校などによる次世代の表現者の育成
天文	<ul style="list-style-type: none"> ・ドーム映像や中継映像を利用したイベントによる施設の多目的活用 ・天文宇宙に関する各種事業の展開

③ 活動指標（検討中：上位計画と整合）

項目	現状（R1）	目標（R6）
住んでいる地区や飯田市の自然・歴史・文化・風土などに誇りや愛着がある人の割合 【市民意識調査】（%）	69	80
来館者数（人）	44,442	45,000
講座等参加者数（人）	6,235	6,500
展覧会・市民ギャラリーの観覧者数（人）	49,758	50,000

8 主な策定スケジュール

時期	会議名等	附議内容等
12月14日	教育委員会協議会	素案説明、意見聴取
12月15日	市議会委員会協議会	素案説明、意見聴取
12月下旬	美博協議会	原案説明、諮問
1月上旬～	パブリックコメント	意見聴取（30日間）
2月中旬	教育委員会	案協議
2月下旬	美博協議会	答申
3月12日	教育委員会	議案附議、計画決定
3月19日	市議会全員協議会	計画報告